

J A相馬村誕生から半世紀

J A相馬村 合併50周年記念式典 を開催



10月1日、弘前市のラグリーにおいてJ A相馬村合併50周年記念式典が開催されました。式典には弘前市や取引市場関係者ら約150名が出席し、農業振興やJ A相馬村の事業発展に寄与した個人や職員に対して感謝状が贈られました。

オープニングセレモニーでは記念DVDを上映

東海道新幹線の開業と同日、 相馬村農協が誕生

式典の冒頭で、三上組合長は「『夢の超特急』として東海道新幹線の営業運転が開始した同日、かつての相馬村農協と相馬第一農協が合併して今の相馬村農協が誕生した。合併の日から今日まで、米の生産調整実施や農産物の輸入自由化、さらには天候不順や自然災害など、生活を根底から揺るがすような様々な出来事があった。しかし、それらの困難も先人たちの知恵と努力、そして関係機関をはじめ、組合員の結集により乗り越えることが出来た。我々は平成12

年4月に開催した農業立村推進決起大会で非合併を決議したが、将来も安定した経営基盤を維持し、組合員が共同の理念に基づいて共に手を取り合って豊かな暮らしを実現できるよう、今後も役員一丸となって事業運営に取り組んでいく」と挨拶。

組合長の挨拶に引き続き、農業後継者の育成や優れた技術の普及、そして今日における相馬村農協の発展に尽力した個人に対して感謝状が贈られました。



主催者を代表して挨拶を述べる三上組合長（上）と
感謝状受賞者を代表して挨拶をする澤田一さん（下）



感謝状受賞者

(写真左より) 山内 齊、田中 新吉、澤田 一、(三上組合長)、成田 尚道、
平井 義美、石岡 昭弘、成田 栄子、小島 ゆり、井沢 いね子
(以上、敬称略)

感謝状受賞者を代表して、澤田一さんは「農協合併の日から今まで様々の喜びや感動、苦労があった。特に平成3年の台風19号では、本県産りんごが壊滅的打撃を受けた中で、JA相馬村は落果りんごを品種ごとに分け、全国で販売してくれたが、そのおかげで現在では県内有数の共販率を誇っている。『農家所得向上なくしてJA運営なし』の考えの下に生産指導・販売に努める姿が、まさに飛馬りんごブランドの原点になっ

農家所得向上への尽力が 飛馬ブランドの原点

ていると思う」と謝辞を述べました。

合併50周年記念式典終了後は、川柳作家渋谷伯龍氏による記念講演に引き続き、記念祝賀会が開催されました。



祝賀会では鏡開きが行われた

感謝状受賞者

剪定技術の普及と後継者育成に尽力され、農業振興に貢献された功績

山内 齊 殿
田中 新吉 殿

長きにわたりJA下部組織の会長職を務められ、組織の活動発展に貢献された功績

澤田 一 殿
成田 尚道 殿

農協の事業発展と職員の教育に尽力された功績

長内 敏行 殿
平井 義美 殿
石岡 昭弘 殿

農協職員として40年以上の長きにわたり職務に精励され、事業発展に貢献された功績

成田 栄子 殿
小島 ゆり 殿
井沢 いね子 殿